

2021年5月26日

2021年度 VOL.9

《 今年は  
開花が早い 》

守るために、知ってほしい

# 「オオウメガサソウ」ガイドツアー開催

2021年5月29日（土）～6月6日（日）〈休園日6月1日を除く〉

■時間／<平日>10:00～12:50 <土日>10:00～14:50 ※50分毎/平日3回、土日5回 ■場所／ひたちなか自然の森 ■定員／各回10名  
■参加費／無料 ■申込／当日受付（西口広場休憩所）※平日12:00、土日14:00まで ■協力／茨城生物の会、里山パートナー ■雨天／中止

国営ひたち海浜公園では、例年より1週間程早く、「オオウメガサソウ」の花が咲き始めました。神秘的な佇まいとうつむきがちに咲く様子から“森の妖精”とも呼ばれ、茨城県レッドデータブック（2012）では絶滅危惧ⅠA類に選定されている希少な植物。開花に合わせ、公園のボランティア「里山パートナー」がオオウメガサソウの生育地を案内するガイドツアーを開催します。



オオウメガサソウ（2020年6月6日撮影）

<360度バーチャルツアー>

保護区域の様子を360度画像でご覧いただけます。



## ◆小さいけれど、樹木です

オオウメガサソウは、ツツジ科ウメガサソウ属の常緑小低木。高さ10～15cmで、直径1cmほどの可憐なピンク色の梅に似た花を、笠のように下向きに咲かせます。主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壌に地下茎を伸ばして生育。地上では数株～数10株のまとまった群落のように見えますが、地下茎でつながった「一株」となっています。

## ◆絶滅危惧種の保全上重要な生育地

環境省レッドリスト（2020）では準絶滅危惧、茨城県レッドデータブック（2012）では絶滅危惧ⅠA類に選定されるオオウメガサソウ。ヨーロッパ、アメリカなどの北半球の冷温帯域の針葉樹林に分布し、日本では、北海道、青森県、岩手県および茨城県のごく限られた場所に自生しています。本公園が日本の自生南限地とされ、種の保全上重要な生育地となっています。

## ◆市民参加で守る、大切な里山林

オオウメガサソウの保全活動は、公園ボランティア「里山パートナー」の皆さんが中心となって行っています。生育地の調査に加え、生育環境を維持するために広葉樹の伐採など森の管理作業を実施。希少な生物が生育する里山林を守るため、年間を通して活動しています。



ガイドツアーの様子（2019年6月9日撮影）



里山パートナー活動状況（2020年11月5日撮影）

### Information

6月6日（日）<かんたん陶芸体験>  
「ぶたさんのアロマポットをつくらう」参加募集中

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星  
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>